



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部本部長 (氏名) 三塚 剛
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5207-7458

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	152,800	4.9	8,834	48.4	9,037	44.6	5,468	75.1
2018年12月期第3四半期	145,608	0.3	5,951	44.0	6,250	43.1	3,122	53.1

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 5,835百万円 (94.1%) 2018年12月期第3四半期 3,005百万円 (60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	270.35	
2018年12月期第3四半期	154.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	111,086	47,686	39.1
2018年12月期	108,580	44,372	37.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 43,442百万円 2018年12月期 40,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		115.00	115.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,500	3.0	2,400	131.5	2,800	102.5	500		24.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	20,237,500 株	2018年12月期	20,220,000 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	4,867 株	2018年12月期	4,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	20,225,477 株	2018年12月期3Q	20,207,339 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意が必要なものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復を続けております。また、当社グループが展開に注力するアジア地域では、ASEANは着実な経済成長を続けるものの、中国景気が緩やかに減速しており、アメリカ・中国間の通商問題の動向が経済に与える影響が不安視される状況でありました。

このような経済状況のなか、当社グループは経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視し、『海外展開の強化』『収益力の向上』『グループシナジーの最大化』に加え、従来からの取り組みの発展・強化をテーマに、成長力と収益性の双方を高める経営を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は1,528億円(前年同期比 4.9%増、計画比 101.9%)、営業利益88億34百万円(前年同期比 48.4%増、計画比 111.1%)、経常利益90億37百万円(前年同期比 44.6%増、計画比 109.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益54億68百万円(前年同期比 75.1%増、計画比 110.5%)となりました。

当社グループの経営成績に重要な影響を与えた要因としては、以下の点であると認識しております。

- ・ 例年に比べて長期にわたる残暑の影響による国内虫ケア用品の需要の長期化
- ・ 新製品の売上寄与や既存製品のリニューアルによる日用品の販売伸長
- ・ 総合環境衛生事業の売上拡大
- ・ コスト低減の結果、販管費比率が前年・計画をともに下回ったこと

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	145,608	150,000	152,800	+4.9%	101.9%
営業利益	5,951	7,950	8,834	+48.4%	111.1%
経常利益	6,250	8,230	9,037	+44.6%	109.8%
親会社株主帰属四半期純利益	3,122	4,950	5,468	+75.1%	110.5%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、規模の拡大と収益性の確保の両立を目指し、新製品投入による新規ユーザーの開拓、既存製品のリニューアルによる製品価値の向上とともに、広告宣伝や魅力ある売場づくりなどお客様とのコミュニケーション施策を通じて、市場の活性化に努めました。また、製造コストや販売にかかるコストの低減を図ることで、収益性の向上に努めました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績については、例年に比べて長期にわたる残暑の影響により虫ケア用品の需要が長期化したことに加え、新製品の売上寄与や既存製品のリニューアルにより日用品も売上を伸ばし、売上高は1,408億39百万円(前年同期比 4.8%増)となりました。利益面では、増収に伴う売上総利益の増加に加え、コスト削減施策の実施など費用の縮減により、セグメント利益(営業利益)は74億82百万円(前年同期比 55.8%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	56,702	57,954	1,251	+2.2%
日用品部門	71,370	76,407	5,036	+7.1%
口腔衛生用品	29,886	32,543	2,656	+8.9%
入浴剤	14,855	15,301	446	+3.0%
その他日用品	26,628	28,562	1,934	+7.3%
ペット用品・その他部門	6,364	6,477	113	+1.8%
売上高合計	134,438	140,839	6,401	+4.8%
セグメント利益(営業利益)	4,802	7,482	2,680	+55.8%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では7,013百万円、当第3四半期連結累計期間では7,184百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

国内においては、上期の天候不順から一転して梅雨が明けた7月下旬以降は全国的に気温が上昇し、台風の影響等による記録的な大雨もありましたが例年に比べて長期にわたる残暑が続きました。こうした気象環境を背景に市場の需要もシーズン後半へかけて長期化し、当社の販売高も虫ケア用品市場のハエ・蚊用やゴキブリ用を中心に前年を上回りました。また、海外は予定どおり好調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は579億54百万円(前年同期比 2.2%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液の新製品『モンダミンNEXT歯周ケア』の売上寄与に加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き好調に推移したことで、売上高は325億43百万円(前年同期比 8.9%増)となりました。

入浴剤分野においては、ユーザーのニーズを踏まえた販売施策の集中的な実施により錠剤タイプの『温泡』、粒剤タイプの『きき湯』、また白元アース(株)の『HERSバスラボ』シリーズが好調を維持したことで、売上高は153億1百万円(前年同期比 3.0%増)となりました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤『スッキーリ!』が売上を伸ばしたことに加え、家庭用マスク『快適ガード』、保冷剤『アイスノン』、防虫剤『消臭ピレパラアース』シリーズが好調に推移したことなどにより、売上高は285億62百万円(前年同期比 7.3%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は764億7百万円(前年同期比 7.1%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、ペット用虫ケア用品が前年同期を下回ったものの、タオル・クリーナーなどのペットケア用品やペットフードが売上を伸ばしました。また、第1四半期連結会計期間よりナチュラルペットフードを取り扱う子会社のペットフード工房(株)を新たに連結しました。これらにより、当部門の売上高は64億77百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、包材関連工場で原料やエネルギーコストの高騰によりコスト削減への動きが強まり、AIを組み込んだIoT・ICT導入・製造機械高速化による製造工程効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転などが進んでいます。一方で、食品の異物混入問題から消費者の「安全・安心」に対する意識は高く、高機能食品、医薬品、医療機器、自動車等を中心とした市場では、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、イノベーションを生み出し、差別化されたサービスをお客様に提供すべく、AIを活用したサービスを多角的に開発するとともに、自社で保有する情報資産を活用したビジネスモデルの開発、人材の育成、業務効率の改善などを目的とした投資を行い、お客様のニーズに速やかに対応できる体制を構築することで、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は192億30百万円(前年同期比 5.2%増)、セグメント利益(営業利益)は11億23百万円(前年同期比 3.9%増)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	18,274	19,230	956	+5.2%
セグメント利益(営業利益)	1,082	1,123	41	+3.9%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では91百万円、当第3四半期連結累計期間では85百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて25億6百万円増加し、1,110億86百万円となりました。これは主に、売上債権の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて8億6百万円減少し、634億円となりました。これは主に、借入金が増加した一方で、仕入債務及び未払法人税等が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて33億13百万円増加し、476億86百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.1ポイント増加し、39.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月13日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,044	6,564
受取手形及び売掛金	21,969	26,756
有価証券	—	100
商品及び製品	19,311	18,225
仕掛品	956	743
原材料及び貯蔵品	3,515	3,431
その他	2,703	2,069
貸倒引当金	△40	△42
流動資産合計	54,460	57,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,335	28,420
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,718	△14,273
建物及び構築物(純額)	14,617	14,147
機械装置及び運搬具	14,412	14,571
減価償却累計額	△9,754	△10,250
機械装置及び運搬具(純額)	4,658	4,321
土地	7,916	7,978
リース資産	339	316
減価償却累計額	△256	△241
リース資産(純額)	83	74
建設仮勘定	343	274
その他	8,183	8,526
減価償却累計額	△6,587	△7,042
その他(純額)	1,595	1,483
有形固定資産合計	29,215	28,279
無形固定資産		
のれん	12,109	10,265
その他	4,071	4,223
無形固定資産合計	16,180	14,489
投資その他の資産		
投資有価証券	4,827	5,885
退職給付に係る資産	2,684	2,877
繰延税金資産	275	569
その他	939	1,139
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,723	10,469
固定資産合計	54,119	53,238
資産合計	108,580	111,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,684	29,759
短期借入金	12,072	6,819
1年内返済予定の長期借入金	3,882	3,437
未払金	6,639	6,188
未払法人税等	700	3,500
未払消費税等	258	1,395
賞与引当金	169	1,246
返品調整引当金	487	2,467
その他	3,165	2,183
流動負債合計	55,061	57,000
固定負債		
長期借入金	6,809	4,398
繰延税金負債	763	465
退職給付に係る負債	497	442
資産除去債務	436	439
その他	639	653
固定負債合計	9,146	6,399
負債合計	64,207	63,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,432	3,478
資本剰余金	3,463	3,509
利益剰余金	32,984	36,016
自己株式	△15	△15
株主資本合計	39,865	42,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873	1,241
為替換算調整勘定	△380	△611
退職給付に係る調整累計額	△131	△176
その他の包括利益累計額合計	361	454
非支配株主持分	4,145	4,243
純資産合計	44,372	47,686
負債純資産合計	108,580	111,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	145,608	152,800
売上原価	89,077	94,214
売上総利益	56,531	58,586
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,417	4,589
広告宣伝費	8,790	7,191
販売促進費	10,643	11,456
貸倒引当金繰入額	5	2
給料及び手当	10,310	10,522
賞与引当金繰入額	944	922
旅費及び交通費	1,343	1,166
減価償却費	826	818
のれん償却額	1,937	1,942
地代家賃	833	848
研究開発費	2,127	1,890
その他	8,399	8,401
販売費及び一般管理費合計	50,579	49,751
営業利益	5,951	8,834
営業外収益		
受取利息	20	25
受取配当金	61	59
受取ロイヤリティー	2	0
受取手数料	29	29
受取家賃	87	89
その他	253	220
営業外収益合計	455	425
営業外費用		
支払利息	90	87
為替差損	54	99
その他	10	35
営業外費用合計	156	222
経常利益	6,250	9,037
特別利益		
固定資産売却益	11	18
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	12	18
特別損失		
固定資産売却損	0	10
固定資産除却損	32	53
投資有価証券評価損	—	18
関係会社株式評価損	250	—
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	284	81
税金等調整前四半期純利益	5,977	8,975
法人税、住民税及び事業税	3,155	4,004
法人税等調整額	△684	△763
法人税等合計	2,471	3,240
四半期純利益	3,505	5,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	383	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,122	5,468

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,505	5,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	370
為替換算調整勘定	△275	△230
退職給付に係る調整額	49	△38
その他の包括利益合計	△500	101
四半期包括利益	3,005	5,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,611	5,560
非支配株主に係る四半期包括利益	394	274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。